

# 分子免疫学セミナー

## マウス体内の近赤外非侵襲 イメージングの現状と展望

**三輪 佳宏 講師**

**筑波大学・医学医療系**

**日時：平成28年7月7日(木曜日) 16:00~17:30**

**場所：藤井節郎記念医科学センター 2F 204室**

生きたままのマウスの体内を非侵襲に自在に蛍光イメージングすることが可能になれば、これまで解析することすら困難であった疾患や生命現象に突破口を開くことが可能になります。その実現のためには、近赤外の蛍光プローブだけでなく、専用の装置、他のモダリティとの合わせ方、マウスの飼育法、計算アルゴリズムといった、様々な周辺技術の準備が整っていることが必要でした。そこで、私達はこれまで何年かかけてこれらの問題をすべてクリアーし、現在はモデルマウスシリーズの開発に着手しています。

本セミナーでは、どうすれば、何が、どこまでできるのか？について近赤外非侵襲イメージングの現状をご報告し、今後目指すべき展望についても議論したいと思います。

なお、本講演会は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびにクラスターコアセミナー（感染・免疫）を兼ねています。

連絡先：生体防御医学分野 2282